

未来づくり懇談会（西乙畑）会議録

日 時：平成29年12月19日（火）

18：30～19：52

場 所：乙畑自治公民館

出席者：矢板市長、教育長、総合政策部長

1 開 会 18：30 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な乙畑地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口・高齢化率推移等について説明。

Q1 ひとり暮らし高齢者の数字はあるか。

A1 資料が無いため、正確ではないが増えていることは間違いないと思う。

ひとり暮らし高齢者が増えると、区費が払えない、共同作業に出られない、行政区の役員の引き受け手がいないなどの問題になる。この地区に限った問題ではないので、総務課に相談等してほしい。

Q2 将来的に空き家の問題があるが何か対策は？

A2 国では空き家対策特別措置法が出来た。

市では本年度から空き家バンクを地元の不動産業者に協力を得て始めた。

平成29年6月	空き家バンク実施
平成29年8月～12月	現況調査結果等に基づく空き家の実態調査（詳細調査）を実施
平成30年3月	空家条例制定
平成30年度	空家計画策定予定

Q3 人口が減ってきているが、人口増加の対策は。

A3 子育て世代の方に矢板に住んでもらいたいと思っている。そのためには、安定した仕事を市内に作る事が大切。また新しい人の流れを作っていく。さらには矢板で結婚、出産、子育ての希望を叶えられるような、子育て環境、教育環境を整えていく。この3つをバランス良く行う必要があると考える。

安定した仕事を作ることでは、矢板南産業団地の企業誘致に特に力を入れた。平成28度は2社、平成29度も1社の進出が決定した。現在も有力な引き合い

が何件かある。片岡地区だけのことではないが、企業誘致にも力を入れる必要があると思っている。

平成 28 年度	高野商運、東色ピグメントの進出決定
平成 29 年度	小出鋼管の進出決定

新しい人の流れを作ることでは、国道 4 号などの道路整備にも力を入れていきたいと考えている。

結婚、出産、子育ての希望を叶えるためには、矢板で比較的安い住宅地の供給をしていくことも必要と考えている。また前市長の時から、「暮らしのびのび定住促進補助金」を実施しているが、補助金の額を少し増やしたいと検討している。

平成 23 年度～平成 29 年度
利用件数 546 件 1843 人 交付金額 281,800 千円 転入世帯 30.4%
平成 29 年度実績
利用件数 91 件 296 人 交付金額 48,500 千円 転入世帯 40.7%
平成 30 年 4 月より補助金額を拡充
用地購入 20 万円(10 万円増)
市内業者を元請とする新築 10 万円(5 万円増)
特定地域加算(矢板駅西地区) 20 万円(新設)
新築住宅に太陽光発電設備を設置 最大 10 万円(新設)

Q 4 矢板では仕事が無いといわれているが、どうなのか？

A 4 ハローワーク矢板管内（矢板市、さくら市、塩谷町）の有効求人倍率は、8 年数か月ぶりに 1 倍を超えて 1.34 倍となっており、今は人が足りない状況となっている。また市内の企業は、技術力が高い、業界でのシェアが高い企業があるので、企業 PR にも、国の地方創生加速化交付金を活用し、昨年度から取り組んでいる。

平成 28 年 12 月	矢板市企業紹介冊子作成 矢板市企業研究セミナー開催
平成 29 年 2 月	やいた U ターン意見交換会開催
平成 29 年 11 月	矢板市企業紹介冊子作成 作新祭出展
平成 30 年 2 月	保護者向けセミナー開催

Q 5 家を求める際に、さくら市に転出してしまう話を聞く。転入だけではなく転出を止める方策はないか？

A 5 家を求める際に、さくら市、那須塩原市に求めるような傾向があることは承知している。「暮らしのびのび定住促進補助金」を実施しているが、補助金の額を少し増やしたいと検討している。

5 意見交換

Q 1 片岡西通り（県道矢板・那須線）の工事が中断しているが、経過を知りたい。

A 1 県道なので矢板土木事務所が交渉や工事については行っている。
都市計画変更の手続きを今年中に行い、具体的な検討を進めていると聞いている。

Q 2 子ども医療費を償還払いから現物給付に変えられないか。

A 2 現物給付の場合、受診する必要がない病気や怪我でも受診する、コンビニ受診が各地で問題になっている。さくら市、塩谷町は現物給付を実施しているが、大田原市や那須塩原市は償還払いとなっているので、周辺の市町を参考にしながら今後具体的に検討していきたい。また、共働きの方が申請しやすいよう、毎週月曜日に19時まで窓口の延長を実施している。

◆子ども医療費助成

郵送でも申請が可能です。

まとめて(1年分)申請が可能です。

Q 3 乙畑小への電子黒板の設置は？

A 3 電子黒板だけでなく、タブレットを各学校に1クラス分だが配置を検討している。平成30年度の予算要求で3校分を提出している。

後付け型電子黒板は、全小中学校に導入済み。

なお、全クラスには入っていないので、年1台ずつ導入予定。

Q 4 指定ごみ袋が高いので、介護で紙おむつをしていると負担になっていると思うので、価格の見直しはできないか。

A 4 ごみ袋は塩谷地区の二市二町で同じものを使用している。その費用については焼却の費用や塩谷広域行政組合に支払う負担金に充てている。受益者負担ではあるが、そのような家庭もあることは承知しているので、検討していきたい。

指定ごみ袋は、塩谷地区二市二町で実施しており、価格の見直しは矢板市のみで行うことはできないため、構成市町で検討が必要となる。

Q 5 高齢者にも乙畑小の第二グラウンドを1月に1度で良いので開放してもらえないか。

A 5 利用する際に学校へ言っていただければ検討してもらえるのではないかと。

Q 6 小学校の英語教育を早めに導入できないか。

A 6 来年度から新学習指導要領で、3・4年は英語活動、5・6年は英語科という教科になる。1・2年も少しずつ始めている。

英語教育には力を入れており、平成30度からALTを3名増員する予算要求している。

◆英語教育

小学1、2年生の授業時数は年間10コマ

小学3、4年生の授業時数は年間15コマ

小学5、6年生の授業時数は年間50コマ

教員の指導力向上のための研修も実施する。

平成30年度 ALT（外国語指導助手）は5名 → 8名（3名増員）

Q7 フットボールセンターの計画はどうなっているか。

A7 規模を縮小し民設民営で願います。今後具体的な協議など進めていく。

平成28年9月 民間活力導入可能性調査業務を委託

平成29年6月 民間活力導入可能性調査の結果を議会全員協議会で報告。

平成29年7月 NPO法人たかはら那須スポーツクラブから民設民営での実施提案書提出。

平成29年10月 事業計画検証業務を委託

検証結果、実現可能性ありと報告。

平成29年12月 12月定例会でNPO法人たかはら那須スポーツクラブに施設整備及び運営を委ねる旨を表明。

6 閉 会 19:52